

## オフサイトセンター offsite center

### [言い換え案]

原子力防災センター

### [簡単に]

原子力災害時の現地対応拠点。正式名称は緊急事態応急対策拠点施設である。

### [詳しく]

原子力施設の近くにあり、原子力の災害や緊急事態が起こったときに、国、自治体、事業者、専門家等の関係者が集まって、事故拡大防止のための応急対策、住民の安全確保のための緊急対策などを協議する場所です。原子力発電所などがある道府県に合計 22 箇所あります。緊急時には、国、自治体、警察、消防、自衛隊、事業者などの関係者が 100 人規模で集まります。原子力施設の近くにありますが、敷地（サイト）の外に設置されるので、この名があります。

### [角度を変えて]

オフサイトセンターは、1999 年の茨城県東海村での JCO の臨界事故を教訓として設置されました。原子力施設の敷地内ではなく、その外の原子力施設から 20km 以内に設置されています。しかし、福島第一原子力発電所事故ではオフサイトセンターが原子炉から約 5km しか離れておらず、事故 4 日後に退避命令が出て閉鎖され、機能しませんでした。このため立地場所や構造が抜本的に見直される予定です。

### [誤解に注意]

Web アンケート調査およびグループインタビューで、多くの人々に意味が理解されていない用語の 1 つである。具体的には次のような誤解が指摘された。

- ・原子力用語ではなく、一般名詞という認識がある。
- ・リモートで管理されている場所のイメージがある。
- ・近くではなく、全く離れたところから何かやっているイメージ。

オフサイトセンターは避難所ではなく、応急の対策所である。ただし、福島事故であまり機能しなかった反省を受けて、対策よりも現地対応拠点としての役割を重視しようとする動きもある。

### [わかりやすく伝えるポイント]

すでに、「原子力防災センター」という通称で地元の人々に呼ばれ、定着しているところがある。こちらの方が施設の内容がずっとわかりやすいので、「原子力防災センター」と言い換えて説明することが考えられる。

### [関連語]

原子力災害対策特別措置法 → 親見出し参照(p189)

### [図解のポイント]

図1. オフサイトセンターの場所 (22箇所)

原子力規制委員会 (旧 原子力安全・保安院) HP

<http://www.nisa.meti.go.jp/genshiryoku/bousai/ofusaito.html>



### 【参考文献】

経済産業省「オフサイトセンターの在り方に関する基本的な考え方」

(<http://www.meti.go.jp/press/2012/08/20120831003/20120831003.html>)